

Mizuho Daily Market Report

2024/1/12

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	145.41	145.29	▲0.47	+0.66
EUR	1.0979	1.0972	▲0.0001	+0.0027
AUD	0.6716	0.6688	▲0.0012	▲0.0019
SGD	1.3295	1.3308	▲0.0008	+0.0015
CNY	7.1628	7.1667	▲0.0060	+0.0059
MYR	4.6424	4.6440	+0.0020	+0.0090
THB	34.96	35.05	+0.07	+0.60
IDR	15549	15549	▲21	+59
PHP	56.01	55.98	▲0.29	+0.48
INR	83.02	83.03	▲0.00	▲0.19
VND	24464	24441	+63	+68

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.966%	▲6.2 bp	▲3.3 bp
日本(10年)	0.603%	+1.7 bp	▲1.2 bp
ユーロ圏(10年)	2.236%	+2.4 bp	+11.2 bp
オーストラリア(5年)	3.778%	▲1.0 bp	+4.3 bp
シンガポール(5年)	2.689%	▲3.1 bp	+1.1 bp
中国(5年)	2.399%	+0.0 bp	+0.0 bp
マレーシア(5年)	3.568%	▲1.7 bp	▲5.8 bp
タイ(5年)	2.411%	+0.5 bp	▲8.0 bp
インドネシア(5年)	6.558%	▲5.6 bp	▲5.8 bp
フィリピン(5年)	5.928%	+0.2 bp	+2.7 bp
インド(5年)	7.090%	▲1.1 bp	▲4.1 bp
ベトナム(5年)	1.520%	▲3.0 bp	▲8.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	37,711.02	+0.0%	+0.7%
N225(日本)	35,049.86	+1.8%	+5.3%
STOXX50(ユーロ圏)	4,442.28	▲0.6%	▲0.7%
ASX(オーストラリア)	4,140.73	▲1.0%	▲1.8%
FTSTI(シンガポール)	3,201.41	+0.7%	+0.9%
SSEC(中国)	2,886.65	+0.3%	▲2.3%
KLSE(マレーシア)	71,721.18	+0.1%	▲0.2%
SETI(タイ)	7,219.96	▲0.1%	▲1.9%
JKSE(インドネシア)	1,483.00	▲0.3%	+0.4%
PSE(フィリピン)	6,613.73	+1.0%	+0.2%
SENSEX(インド)	1,408.24	▲0.4%	▲1.8%
VNINDEX(ベトナム)	1,162.22	+0.1%	+1.0%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	264.10	+0.7%	▲0.3%
金	2,028.91	+0.2%	▲0.7%
原油(WTI)	72.02	+0.9%	▲0.2%
銅	8,262.20	▲0.1%	▲1.3%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	144.50	—	146.00
EUR/USD	1.0870	—	1.1080
AUD/USD	0.6630	—	0.6880
USD/SGD	1.3240	—	1.3340
USD/CNY	7.1500	—	7.1850
USD/INR	4.6300	—	4.6580
USD/THB	32.48	—	35.32
USD/IDR	15430	—	15600
USD/PHP	55.40	—	56.48
USD/VND	82.80	—	84.00
USD/VND	24,100	—	24,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は145円台後半でオープン。クロス円の売りが優勢となる中、ドル円は145円台前半まで下落。発表された日銀支店長会議・さくらレポートでは賞金・物価に関して特筆して良い評価は見られず、為替市場への影響は限定的となり145円台半ばで海外時間へ渡った。アジア通貨は総じて堅調に推移。アジア時間、ドルが小緩む展開にアジア通貨は対ドルで小幅に上昇した。

欧州時間のドル円は米州時間朝方に米CPIの発表を控え動意薄く推移し、145円台前半で米州時間へ。注目された米12月CPIヘッドライン(前月比)は上回る結果となり、米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数も予想より良好だった事を受け、ドル買いが優勢となり、146円台半ばまで上昇。ドル買い一巡後は、コアCPI(前年比)が前回より低下している事が考慮されてか、米金利は低下し、ドル円も146円付近まで下落。米州時間午後はマスター・クリーブランド連銀総裁が「3月は利下げ時期として恐らく早過ぎる」と発言するも、影響は限定的。その後、米金利が一段と低下する動きが重しとなり、指標発表後の上昇分を無くし145円台前半まで反落しクローズ。

【金利】

米金利市場は、中期ゾーンで低下し、イールドカーブはスティープ化。米州時間朝方には市場注目の12月CPI(消費者物価指数)が発表され、発表後金利は急上昇した。しかしその後はFEDの利下げスタンスを変えるほどの数字ではないとの見方から、買い戻しが見られ、その後発表された30年物国債の結果も堅調であったことからの買いもあり、引けは、前日終値比低下で終了。

【予想】

本日のドル円は上値重い展開を予想。昨日のマスター・クリーブランド連銀総裁のコメントを受けても市場の反応は限定的となり、利下げ期待の後退も一巡したものと考えられる。また、今朝にかけ米英がフーン派拠点を攻撃したとの報道も伝わる中、地政学リスクの高まりへは注意したい。

【本日の予定】

(日本) 11月 国際収支:経常収支
(日本) 12月 景気ウォッチャー調査 現状判断
(日本) 12月 銀行貸出動向
(日本) 国債入札(30Y)
(アジア) 11月 インド 鋳工業生産
(アジア) 11月 豪 住宅ローン額 / 持家住宅ローン / 投資家ローン額
(アジア) 12月 インド CPI
(アジア) 12月 フィリピン CPI
(欧州) 11月 仏 消費者支出
(欧州) 11月 英 サービス業指数 / 建設業生産高
(欧州) 11月 英 月次GDP
(欧州) 11月 英 貿易収支
(欧州) 11月 英 鋳工業生産 / 製造業生産
(米国) 12月 PPI
(米国) カシカリ・ミネアポリス連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。